

年 月 日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

理事長 久間 和生 宛

生物材料（・・・・）利用研究開発計画提案書

研究機関： 印

所在地：

研究責任者 部署・職位：

氏名： 印

生物材料（・・・・）を利用し、以下のとおり、社会実装を目指した研究開発を進めたいので、研究開発計画提案書を提出します。

1. 研究開発テーマ：「・・・・・・・・」

2. 研究開発の目的

研究開発から社会実装に至る全体構想を記載。その際、

- ・実現した場合の社会的意義と大きさ
- ・困難なポイントとそれを克服する手段、取組み体制等についても記載。

3. 研究開発の目標と内容

複数年の提供を希望する場合は、以下の項目（3-2、3-4）に各年度の研究計画と提供希望量をそれぞれ記載して下さい。

3-1. 研究方法および内容、目標

どのような用途・製品化を目指し、如何なる研究開発を行うのか。

3-2. 研究の年次計画

研究計画が複数年に亘る場合は、それぞれの年度に使用する生物材料の量を記載してください。ただし、応募書類は、毎年度提出していただきます。

3-3. 今年度の分与希望量（本申請で分与を希望する総量）： kg

- 3-4. 研究計画が複数年に亘る場合は各年度の分与希望量：
- 3-5. 粉碎物以外の形態を希望する場合の形態とその理由・目的
- 3-6. 無償での提供を希望するか？ 希望する場合は、その理由

4. 研究開発体制

- 4-1. 研究体制（研究資源（人、資金等）の投入見込み、関連する機関）
- 4-2. 研究機関の基本情報
 - 4-2-1. 研究機関の概要
 - 4-2-2. 今回の提案に関連したこれまでの研究開発成果について
 - 4-2-3. 研究施設等
 - 4-2-4. 実験に必要な法令等の遵守について
 - 4-2-5. 生物材料管理責任者 部署・職位・氏名

5. 研究開発に係る環境

- 5-1. 社会実装に向けた取組姿勢に関する状況

*民間事業者の場合は研究開発の貴組織内におけるコンセンサスの状況。どの階層まで了承しているか。また、社会実装までにかかると想定している期間
アカデミアの場合は、実用化への橋渡しの考え方など。*

- 5-2. 研究開発に要する人的・物的・資金的負担とその確保に関する考え方

研究遂行に必要な原資の確保状況について、充当する公的研究費、私的研究費等の情報を含め「具体的に」記載してください。なお、外部資金を獲得しそれを充当している場合は、当該原資について少なくとも以下の情報は記載して下さい。

- ・ *研究助成事業名（例：平成〇〇年度〇〇〇〇省〇〇〇〇科学研究費補助金△△研究）*
- ・ *資金提供元（例：国立研究開発法人日本医療研究開発機構）*
- ・ *研究課題名*
- ・ *研究期間（終了予定年度情報を含む）*
- ・ *助成金額（過去は受領金額、将来分（未受領分）は未確定の予定金額ないし申請金額）*
- ・ *当該研究チームで主任研究者ないし研究分担者として研究資金獲得に関与している研究者名と主任・分担等の役割*

- 5-3. 研究開発から社会実装を迅速・円滑に進めるうえでの障害

- 5-4. 社会実装を進める上で、公的機関・研究開発法人等への要請・要望

6. その他、要望があればお書きください。

7. 連絡先

研究責任者の連絡先

(※ 赤字の部分は削除して提出して下さい。)